

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【タイトル】

オリ主とバカと物語！

## 【作者名】

篠崎久遠

## 【あらすじ】

もしかしたらあったかもしれない物語。

その一つが今ここに紡がれる!?

オリキャラなどが出て来ます。

途中で原作ブレイカーになるかもしれません。

応援していただけると嬉しいです！

## プロローグ

愉快痛快だな。

何をどうすれば俺ら二人で、

時計を34個も壊せるんだ？

「ねえーなにしてるの!?早くしないと僕たち、遅刻になるよ!?!」

「わかってるー!急ごう、明久!!」

そういえば、あの時もこんな感じになったな。

振り分け試験

難しいと言う割に結構簡単だな。  
これなら、俺には問題ないはず。

予想通り順調に進んでいた。

でも、

バタッ!

!?明久!!

「大丈夫か!?明久!!」

「君は座りなさい。吉井くん、途中退出は無得点だが。」  
何をほざいてるんだ!?!この教師は!

「お…ねが……………い……………しま……………す……………し。」

「先生……俺も無得点で構わないので、保健室に連れて行かせて下さい。」

「……………君がいいなら、いいぞ。」

「ありがたい。」

「明久、いくぞ。」

「いめん……………」。

「こいつ……………まあ昔からこんな感じか。」

「それと後になって聞いた話だと、」

「姫路とやらも倒れたらしい。」

「時は戻って遅刻寸前。」

「おはようございます！鉄人先生！」

「おはようございます、進撃の鉄人。」

「おはよう！お前ら、ちゃんと西村先生と呼べ。」

「特ににそっちは、色々と危ないぞ！」

「わかりました！西村先生！」

「わかりましたよ、鋼鉄<sup>はがね</sup>の鉄人先生。」

「もう今回は諦めた。」

「それはそうと結果のわかりきったクラス発表を下さい。西村先生。」

「ようやく普通に呼んでくれたな。ほら。」

クラス分けの紙を貰い、明久がアイコンタウトを取ってきた。

(これって資源の無駄遣いじゃ)

(黙れよ。)

「お前のしたことは間違ってるな。」

俺も学園長に頼んでみたが、「

「かまいません。ほら、早くいぐぞ。」

「うん、それでは、さようなら。」

そういえば鉄人、全員来るまであそこに待ちぼうけか。  
可哀想に。

Aクラス前

何も変わらないので、省きます。

とりあえず言っと、

ノーパソ、個人エアコン、etc・etc・

Fクラス前

「ねえ！これ本当に教室？」

見事な位ボロボロだった。

「俺が知るわけないだろ。」

さて、入るとするか。

「遅れま」早く座れ！このつじ」早くするぞ。「虫が！」「いきなり酷い

し二人で被せないで！」

「これは面白い。

「それで、なんで雄二が居るの？」

「秀吉とムッツリーニも居る。」

「俺らはお前らが退出するのを見て点数調整をしたんだ。」  
なるほど、どおりでAクラス並が居るわけだ。

「とりあえず座れ。」

「了解。」

自己紹介

「木下 秀吉じゃ。演劇部に所属してある。  
今年一年よろしくなのじゃ。  
因みに俺は男じゃぞ。」

「……………なんだって……!!!」

馬鹿かこいつら。

「そうか！木下は男でも女でも無い！  
第三の性別、秀吉なんだ。」

「おお!!お前頭良いな!!!尊敬するぞ!!」  
本当にだよ。ネジが絶対足りてないレベルで天才だよ。

「土屋 康太。」  
相変わらず口数の少ない奴だな。

「島田 美波です。  
海外育ちの帰国子女です。」

島田か。不愉快だな。

あいつは、明久に助けて貰ったくせに、  
明久にやたらと暴力を振るうからな。

「趣味は吉井 明久を殴ることです」

もう嫌この学校。

おっと明久の番か。

「どうも！吉井 明久です。  
気軽にダーリンと呼んで」

「「「「ダーリィーン!!!」」」」

明久がすげえ不愉快そう。  
適当なモブの番か、飛ばしたいけどな。

何か凄い飛んだきがする。

メタ？

俺の番か。

「じつも、くんごちは。」

俺の名前は、

雨月 緋金です。

今度とも一年、よろしくおねがいします。」

「あの、遅れて、すいま、せん……。」

「「「「えっ?」」」」

俺は事情を知ってるから問題ないけど。

まあ驚きだな。

「あの、姫路 瑞希と言います。よろしいお願いします」

Aクラスにいるべき人がいるのだから。

オリ主と明久達と試召戦争！

クラス全員の自己紹介が終わり、  
明久と俺は、雄二を連れて教室を出た。

「あのさあ雄二、試召戦争をしてみない？」

「ああ奇遇だな。俺もしようと思ってた。」

「なら決まりだな。それと雄二、

頼みとしては、試召戦争は明日からにしてくれないか？」

「？ああそうゆうことが。構わない。」

「ねえ緋金？なんで明日からなのさ。」

「ういっ！わかってないのか！？」

「簡単に言つとだな、お前ら2人は、点数が無いから回復させるといっ  
じつだ。」

「なるほど!!」

「と言つわけだ。明久、緋金もどるぞ。」

Fクラス

「Fクラス代表の坂本だ。」

質問だが、Aクラスは冷暖房完備でリクライニングシートらしいが



「不満はないか？」

『大ありじゃあっ  
!!!!!!』

「だろっ？俺だって不満だ。そこでだ、

我々はAクラスに試合戦争を仕掛けようと思っ！」

『勝てる訳が無い！』

『これ以上設備を落とされたくない。』

『姫路さんがいれば何も要らない。』

今誰が姫路にラブコール送ったんだ？

「そんな事はない！俺が勝たせて見せる!!」

『何を馬鹿なことを』

『できるわけない』

『根拠がない!!』

「それは違っぞ！」

あっ！論破。

「根拠ならある！今から説明してやる！」

「まずは康太!!」

「……………なんだ。」

「こいつがああムツツリーニだ。」

『あの有名な!?!』

「次は姫路だ。言うまでもない。」

『その通りだ!!』

『彼女さえいれば何も要らないな!!』

だから誰何だろうか？

「木下秀吉もいる。」

『確か木下優子の………』

「俺も全力で尽くそう!!」

『坂本って昔は神童と呼ばれてたらしいぞ。』

『Aクラス並が二人もいる。』

「更に、吉井明久と雨月緋金もいる。」

『誰だそいつ?』

もっ忘れられたらしい。

『あれ? そいつらって確か観察処分者じゃないか?』

「色々とあつてなったが何よりも操作能力に、

「一人共Aクラス並だぞ。」

『これなら勝てる!!』

『『『勝てるぞ!!!』』』

「ちょっと！ウチがどうしたの!？」

「それでも数学は、Bクラス並よ!？」

「だから言わなかった。」

「なら何故吉井達は!？」

「明久達は頭の悪いふりをしてただけだ。

それに操作能力だけでも、Aクラスを越えてるからな。」

「さて、てな訳で島田！

Dクラスに使者として逃げ。」

「坂本!？今いけの漢字変じゃなかった!？」

あと大抵下位クラスからの使者って酷い目に」

「男子が女子にするわけないだろ?明日の朝9時からだ。」

「そうね。わかったわ。」

酷い奴だ。

「さて今日はもう授業は無いし明日に備えて家に帰れ。」

キャラ設定 ネットバレ注意（オリ主の腕輪設定より  
も下に行かなければ大丈夫です）

原作キャラ

吉井 明久

年齢16歳

見た目原作通り

学力、

国語	300	400
古典	100	300
数学	200	300
化学	200	250
生物	360	450
物理	200	210
地理	300	400
日本史	400	460
世界史	490	600
英語	300	450
保健体育	200	370

性格

全員同じだが、木下を男だとわかってる。

原作とあまり変わらない

しかし頭が極端に良くなっている

うっかりミスと珍解答がなければ問題ない

また、喧嘩に慣れている

観察処分者であり、操作に慣れている。

料理の腕がかなり良い。

一時期『超高校級の料理人』と呼ばれるほど。

召喚獣

武器

木刀×2つ（仕込み刀）制服

腕輪

神闘しんとう

行動に残像が残り、

追加ダメージを与える代わりに余分にダメージを被る。

使用点数、100

坂本 雄二

上記の明久と同じ

学力

国語 200 \ 300

古典 200 \ 300

数学 200 \ 320

化学 400 \ 450

生物 220 \ 310

物理 300 \ 400

地理 200 \ 390

日本史 300 \ 340

世界史 300 \ 390

英語 400 \ 410

保健体育 300 \ 400

性格

原作と変わらない。霧島と付き合ってる。

ただし、FFF団に加入してない。

また、他のメンバーも同じです。

召喚獣

原作と変わらない。

武器

籠手。 制服

余分射程  
オーバーレンジ

射程距離を引き伸ばす。

使用点数、 200

木下 秀吉

上記の明久と同じ

学力

国語 200〽300

古典 400〽570

数学 200〽300

化学 300〽420

生物 140〽190

物理 290〽300

地理 120〽220

日本史 120〽150

世界史 105〽155

英語 200〽220

保健体育 120〽300

性格

原作と変わらない。

召喚獣

原作と変わらない。

全く一緒。

姿物真似  
ドッベルゲンガー

相手の点数と姿を物真似する。

使用点数、 現在存在する点数全て。

仲間には分かる。

土屋 康太

上記の明久と同じ

学力

国語 200 \ 320

古典 220 \ 290

数学 300 \ 320

化学 230 \ 320

生物 370 \ 450

地理 220 \ 230

日本史 220 \ 260

世界史 190 \ 260

英語 260 \ 300

保健体育 700 \ 980

性格

原作と変わらない。

盗撮はしない。犯罪はあまりしない。

明久達に頼まれた時だけはやる。

また、先生に頼まれて盗聴している。

召喚獣

武器

原作と変わらない。

ただし、手裏剣が加わった。

フルアクセル  
多重加速

何回も加速を掛けて爆発的な速度を生み出す。

オリ主

雨月 緋金

16歳

顔が緋弾のアリアのキンジに似ている。

身体付きが細身ながらも筋肉が結構付いてる。  
頭が桁違いに良い。

学力	
国語	850 \ 1550
古典	390 \ 470
数学	680 \ 820
化学	500 \ 1390
生物	600 \ 920
物理	360 \ 450
地理	780 \ 1240
日本史	390 \ 420
世界史	350 \ 450
英語	340 \ 390
保健体育	12 \ 15

#### 性格

悪くは無い。

ノリも良く、料理も上手く出来る。

嫌いな奴はとことん嫌い。

喧嘩に強い。

因みに保健体育は鉛筆を転がして答える。

明久に少し劣るが素晴らしい料理の腕前を持っている。

一時期『超高校級の××』と呼ばれていた。

#### 召喚獣

やがて魔劍のアリスベルに出てくる、

妖刃の静刃と同じ。

#### 双剣双銃<sup>カド</sup>

二丁拳銃（H&KVP70×2）

弾丸は18×2で、リロードは2つ合わせて四回まで。



ショットガン（ウインチェスターM1887）  
装填数5、リロードは一回だけ。

腕輪  
アウターサイエンス<sup>科</sup><sub>学</sub>の<sup>外</sup><sub>側</sub>

召喚獣の状態がカゲプロの黒コノハと同じになる。

使用点数は300

また、能力として目に関する能力が使えるようになる。

因みに、

根本は卑怯者ではない。

FFF団に須川がいなくて、

横田が作った。

清水 三春は同性愛者ではない。

変わりにオリキャラがその役を担う

久保くんはやはり、同性愛者ではない。

細かい設定

Fクラス所属人数

姫路と須川が抜けた後

46人

Aクラス所属人数

姫路と須川が加入後

28人+転校生

始まり!!

さて、遅刻せずに済んだか……。  
明久がなかなか起きないからそれに時間を食われたな。  
俺達が向かっているのは、

『文月学園』

結構有名な学園なのだか何よりも、  
とあるシステム、

「試験召喚システム」と呼ばれるシステムを取り入れてる、試験校であることだ。

「吉井に雨月か……。遅刻せずに来るとは珍しい……。」

「失礼過ぎます!!!」

浅黒いスポーツマンのような人に声をかけられた。

「おはようございます、鉄じ……。西村先生。」

「おはようございます、鉄人先生。」

「吉井、今お前俺のこと鉄人と言わなかったか？」

後、雨月は言い訳の仕様がなぞ!!」

「そんな事よりも早くクラス分けを下さい!」

「その通りです。」

「吉井に雨月、お前らは本当に良くやった。俺は誇らしいぞ!!」

クラス分けの紙を貰って開けると、

『吉井 明久 Aクラス』

『雨月 緋金 Aクラス主席』

「西村先生、そういえば雄二達は何処のクラスなんですか？」

「俺もそれが知りたいです。」

「秘密だ。」

残念。

Aクラスに移動

なんやかんやあって、遅刻してしまった。

「すいません遅れましたー!」

「右に同じく遅れてすいません。」

学年主任の高橋先生が担任か。

クラス設備が凄いな……………。

「吉井くん、雨月くん、丁度良いですね。」

学年主席の雨月くん、自己紹介をしてください。」

「えっ？霧島さんじゃ無くて雨月が？」

皆揃ってぞわめき出した。

「観察処分者の雨月が代表で、

同じく吉井が俺らと同じクラス。」

「カンニングでもしたんじゃ……………」

「静かにしてください。」

私達教師がカンニングを見過ごすわけありません。」

おお、流石高橋先生。

皆静かになったよ。

「こんにちは。クラス代表の緋金です。」

あらかじめ言っておきますが、

余り試召戦争をする気がありません。

一年間よろしく願います。」

パチパチと拍手がなった。

「よお！明久に緋金!!」

「雄二達もAクラスだったの!？」

「その通りじゃ!!」

「一年間よろしく頼むぞ、雄二、秀吉、康太。」

「」「」「ちひ」「!!」「」

「少しいいかしら?代表。」

「あんたらは」

なんで雄二が俺の変わりに答えてるんだ?

「私は木下 優子よ。」

「ボクは工藤 愛子だよ!」

「……………雄二、結婚して……………」

「げっ!?翔子……………」

相変わらず愛されてるな……………雄二。

「あの、兄さん……………」。

あれ?確か、明久の従兄妹の、  
「皆!紹介するね!」

僕の従兄妹の吉井 秋菜だよ!」

「えっと、その、よろしくお願いします。」

やっぱり、明久の従兄妹の秋菜だったか。

明久の事……………好きな恥ずかしがり屋なんだよな。

「」「ん」「ちは!!あたしは、

榊 裕香です!!よろしく!!」

「元気がいいな〜!!」

「……………目測、Gカップ(ボソッ)」  
康太、お前には尊敬するよ。

「確か、須川さんと幼なじみだったよな？」

「えっ?よく知ってるね!？」

その後、俺らは仲良くなるためにお話をしていた。

その日、FクラスがDクラスに試召戦争を仕掛けた。

「代表達は、どっちが勝つと思うかしら？」

「うーん、ボクはDクラスだともうよ？」

「秋菜はどう思う？」

「私も同じ意見です。兄さん、皆さん。」

どっにか恥ずかしがり屋の部分をどっにかできたな。

「榊はどう思うのじゃ？」

「あたし?あたしもDクラスかな？」

「そう言う代表達はどっなのよ。」

俺ら?俺らは、

「『『『Fクラスだと思っ(のじゃ)ぜ(よ)……………』』』」

「……………凄い息びったり……………」。

「流石兄さん！」

「今には流石のボクも驚いたな。」

「あたしも同じ意見だな！」

その後俺らの予想通りFクラスが勝った。

そっぴ、

「なんでアキが此処に居るのよ!!」

「島田よ！止めるのじゃ!!」

「吉井くん？カンニングはいけませんよ？」

「おい！お前ら!!」

「坂本は黙ってて!!!」

「……………そっちがその気なら……………」。

「……………なあ？島田……………」。

「なに？邪魔しないで!!」

「俺らのクラスと戦争しようか？」

「……………」えっ？「……………」



「五人ずつの個人戦で負けた方の人は、  
勝った人の言うことを聞くこと。」

此方からは、俺と明久が必ず出る。それでどうかな？」

「わかったわー！受けて立つわ!!アキ、覚えておきなさい!!」

そのまま立ち去った。

「代表？」

「しゅめんなさい、今日はもう帰る……………」。

あの虫けら共に生まれて来た事を後悔させてやる。

## FクラスVS Aクラス

AクラスVS Fクラス戦直前の回復試験終了直後。

須川は一人悩んでいた。

(クラス代表なのに権限が全部島田と姫路に盗られて、クラスでの扱いは酷い。

あの時姫路が倒れたのを連れて行かなければ、もっとマシなクラスに行けた筈だった。)

実際、点数はAクラスに入れるだけの点数は取れていた。

(せめて最後に吉井達を守ってみせる。

FFF団や島田達の思い通りにはさせない!!)

なんかやけに格好いいですね。

AVSF開始!

Aクラスの明久。

「あらかじめ聞いておくけど、

勝った人は負けた人に好きな命令が出来る。

たとえクラスを変えてしまうも。

それで大丈夫?」

島田が、

「その通りよ、アキ!!アキが居るべきなのは、

AクラスじゃなくてFクラスなのよ!!」

「明久くん、カンニングはいけません!!」

高橋先生が、

「それでは一人、出てきてください!」

「ウチが行くわ!!」

そう来たか。

「緋金? 誰を行かせる?」

そつだな……………。

「秋奈……頼む。」

「秋奈が?」

「わかりました。」

予想通りに怒ってるな、これなら問題なさそうだな。  
問題は、

「何でアキじゃ無いの!!?? アキを出しなさい!!」

哀れにも程がある。

「それでは、科目は?」

「数学でお願いします!!」

「わかりました。それでは始めて下さい。」

始まったか。

「ウチは数学だけならBクラス並よ!!サモン!!」

「それは凄いですね。サモン……………」。

Fクラス 島田 美波 VS Aクラス 吉井 秋奈

『おい、吉井と同じ苗字だぞ!?!』

『どういう事だ!?!?』

『秋奈さん、凄い可愛い!!』

「ちよっと!?!あなたアキと何で同じ苗字なの!?!」

「兄さんと私は従兄妹です!!」

島田 吉井

数学

189点 756点

『!?!?!?』  
『!?!?!?』

驚いたな、凄い点数だ。

「ちよつなら、島田さん。」

腕輪発動。属性 火。」

秋奈の召喚獣は弓を放ち、  
島田の召喚獣の喉を貫いた。  
それだけではなく、  
更に火で燃やした。

たったそれだけで蹴りがついた。

「次の方、どうぞ。」

「須川がでます!!」

須川か、これなら、

「榊が行きます。科目は家庭科です。」

向いっは、

『すげー胸がデカイ!!』

『結婚してほしい……………』

「私は榊 裕香は、須川くんと幼なじみです!!」

「おい！裕香！何急に言い出した!？」

『須川殺す。』

『徹底的に痛めつける。』

「うわ?!?! サモン?!?!」

「サモン」

須川 家庭科397点

榊 家庭科356点

くそ、負けてる。

結果負けた。

勿論、榊が負けた。

須川 22点

結構惜しかったな。

「亮くんおめでとつ!!」

「ありがとう……。」

「次は？」

「福村が行きます！保健体育で!! サモン!!」

相手もわからないのに。」

「……………土屋 康太、行きます……………サモン。」

福村 保健体育5

「……………フルアクセラ多重加速……………」

瞬殺でした。

うわぁー!!

「次は？」

「僕が行きます!!」

明久よ、早すぎだ!!

「四季上しきかみ 櫛火くしかが行きます。科目は世界史で。サモン」

「サモン!!」

四季上 391点 明久 452点

「腕輪発動!!」

明久の腕輪の効果は確か、  
残像みたいなのを分身の要領で出して、  
追加ダメージだったはず。

結果

明久の勝ち

明久 2点

「次は誰ですか？」

「俺が行きます。」

「私が行きます!!」

「それでは科目は?」

「国語をお願いします。」  
俺が決めさせて貰った。

「そっちは?」

姫路に聞いてみるよ、

「問題ありません!サモン!!」

「そっか、サモン……………」。

姫路 国語 642点

凄いな!?驚いた……………。  
皆絶句してるよ。

雨月 国語 点  
始めようか?



緋金VS姫路 【科学の外側】VS…【必殺料理人】

雨月 国語 1329点

「「「「はっ?」」」」

姫路 国語 642点

雨月 国語 1329点

「そ、そんな点数……有り得ません……!!?」

「現実を見る、腕輪発動……『アウターサイエンス』!」

雨月 国語 1029点

「点数を300点も使う腕輪!」

『でも何も起きないぞ?』

『虚仮威しか?』

変化は唐突に現れた。

身体を包んでいた灰色のコートとベルトは、  
ドス黒くなった。

身体中に蛇が纏わりついた。

召喚獣は、顔を見えないように、  
下を向いた。

もう一度正面を見た。

「っ!？」

『なんだよ、あれ!？』

身体に纏わりついた蛇は、

姫路を威嚇して、

俺の召喚獣の目は、

完全な黄色に変化していた。

「っ!？そんな虚仮威し、っ」

「受け入れろ……………これが運命だ。」  
さだめ

目にも止まらない速度で走りその勢いで姫路の召喚獣を蹴り飛ばし、さらに追撃で鳩尾に拳を叩き込んだ。

姫路 国語 999999999点

「そんな……………!？」

俺は姫路の側により耳元で、

「明久を縛らない方が良い。

俺の経験と記憶では寛容で母性がある女の子が好きだな筈だ。

お前は母性の点はクリアしているから寛容になるべきだ。

お前にチャンスをあげるから。」

「……………雨月くん……………アドバイスありがとう……………」  
「……………」  
「……………」

高橋先生が、

「雨月 緋金の勝利です！」

FVSAの結果はAクラスの勝利です！」

「敗戦の要求だ。勝利したクラスはその回数分負けたクラスに要求で  
きる。」

始めは明菜から島田だな。

「反省するまで永遠に兄さんに近づかないでください。」

次は須川だな。

「俺をAクラスにしてくれ。」

俺は「安心しろ、学園長に頼んだ。」

土屋か。

「……FFF団の解散を要求する。」

「僕は保留かな？」

明久終了。

「姫路をAクラスに寄越せ。反論は認めない。」

解散後

「何故緋金さんは姫路さんを私達のクラスに？」

「秋奈………皆は少し静かにして。」

「……」

さっきから明久がそこに立っている。

姫路に呼ぶように指示をして俺が明久を説得したからだ。

「あっ、あの……吉井……くん……」。

「なんだい？姫路さん。」

「その……ごめんなさい!!」

暴力を振るったり、女子と話したただけでお仕置きをしたり

……」。

「……」。

「その上で言わせてください。」

……私は吉井くんが好きです。」

「……」。

「その、えっと……虫のいらいを言っでごめんなさい!!」

「構わないよ。」

「えっ?」

明久の奴……やけにかっこよく見えるな……」。

「じつして姫路さんも謝ってくれたしこの件はこれでもう終わりー!」

「吉井くん……」。

「さて、もう戻る？皆が待っているだろうし。

ほら、一緒に行こ？」

「はいーよし……………明久くん!!」

予定通りに終わったな。

後は、島田か……………多分無理だな……………。

姫路には改心の余地が有ったけど……………島田には……………。

まあ、こうして明日に続いて行くからな。

俺はもう……………この世界から離れる事ができないね。

あいつらに魅せられてしまったのだから。

昨日のペースを守って行こうか。

あいつらと馬鹿をやって、楽しむとするか!!

清涼祭の出し物決め（追伸、大きく変化します。オリ主の相手が変わります）

「それじゃあ案がほしいから手を上げていってくれ！」

今俺は『清涼祭』の出し物についてアンケート、希望があるか聞いている。

清涼祭とは要するに学園祭の事だ。

それぞれのクラスで出し物をするとかだな。

「はい」

「姫路さん、何か案がありますか？」

「執事&メイド喫茶です。明久さんと雨月くんの女装にしましょう」

『姫路さんやるー！』

『その発想は無かったぜ！』

『結構似合っと思っつよー！』

俺と明久は口を揃えて、

「却下だ!!!」

「俺は良いと思うぞー」

「雄二に同じくじゃー！」

「……………俺は賛成、写真を撮らせる」

「雄二！絶対僕の不幸を願ってない！」

「康太！お前何で今からカメラの準備してる！許可自体してないぞ！」

「ふんふん」

「いやいや、明久。それは違う」

「えっ？違う理由があるの？何？」

「俺が面白いからだ！」

「何か最低な事言いやがった!!」

一方、

「……………それは違うぞ！」

「ほう、違う理由が有るのか？」

「明久達の女装の写真はかなり高く売れる」

「貴様あああー！！！！」

戻って、

「明久くん！止まってください！」

「止めないで、姫路さん！こいつには屋上から紐無しバンジージャンプのゲームが必要なんだ！」

「明久くん、それではゲームではなくて死んじゃいますよ!!?」

作者から、

姫路が改心しても本編の姫路と大きく変わらない気がしてきた。  
どうせなら明久達にこんなやり取りをさせたいのでこんな事になりました。

「霧島、止めるな！こいつにはパラシュート無しのアダIVINGをやらせなければならぬ!!」

「雨月……………それだと死んじゃう……………」

作者から、

本編のバカ騒ぎはしつかりと残ります。

それでは本編に戻ります。

キング・クリムゾン!!

(気分で作ってみた)

「仕方がないから他に案がある奴は居ないか？」

沈黙。

「……………他に案が無いようなので執事&メイド喫茶に決定です」

衣装は俺と明久とで用意するので女装は勘弁してくださいと懇願



したのは別の話ですね。

一方Fクラスは、補習で出し物が決まらなかった。

次の日

Aクラス。

「それでは、料理を作るのは交代制として、土屋に坂本に須川に霧島さんと数名、偶に俺と吉井で良いか？」

『問題ない！』

「それじゃ、残りのメンバーには接客とか必要な物運びとかになるけど構わないか？」

『別に構わないか！』

そして役割分担が決まったので、準備に取りかかっていた。

食材の調達や接客する奴には基礎的訓練を行った。

勿論俺と明久でだ。

何故出来るのかと聞かれても………色々と合ったとしか言えないからな。

清涼祭まで残り4日。

そしてこの時期に転校生がAクラスにやってくる。

## 転校生と新任教師の襲来？

朝っぱらから朝会。

死ぬほどめんどくさい。

隣では既に寝てるバカが二人存在している。

「これにて本日の朝会を終わります。これから新任教師の紹介をします」

「明久、起きろ」

「……………はっ、ありがとう……………緋金」

「今から新任教師の紹介らしいぞ」

「それでは自己紹介をお願いします！」

……………

「おはようございます、私は日本史と世界史を担当する」

俺達はその人を見て驚いた。俺と明久の昔の恩師である、

「上白沢 慧音と申します、今後ともよろしく」

「ねえ緋金？」

「なんだ明久」

「何で慧音先生が此処に居るの？」

「知るわけ無いだろ……………」

「次の方、どうぞ！」

「八雲 紫よ、数学教師を担当するわ。よろしく」

紫さんにもお世話になったな。

「紫さん……………緋金と一緒に世話になったよね」

「その通りだ、あの人が来るということは」

「八雲 藍です。紫姉さんと同じく数学を担当してます」

「やっぱり来てたな」

「やっぱり来てたね」

「次の方、どうぞ！」

「おはようございます、体育を担当する聖 白蓮と申します。よろしく  
お願いします」

「白蓮さん……………」

「明久の関係者だったな」

「うん、僕の姉代わりだよ」

「俺もお前も家族を幼い頃に亡くしてるからな」

「以上で終わりです！転校生が居ますがそれは転校生が来たクラスで確認して下さいー」

## Aクラス

「おはようございます！転校生の東風谷 早苗です。よろしく願いします！久しぶり！明久くん、緋金くん!!」

「私は射命丸 文です！撮影が好きです！よろしく願いします！」

「十六夜 咲夜です。一年間よろしく願いします」

「えっと、転校生の鈴仙・優曇華院・因幡です。よろしく願いします」

「永琳さんじゃ無くて鈴仙さんが来たね」

「この展開は予想外」

「久しぶりだね！明久くん、緋金くん!!」

東風谷 早苗……早苗が話しかけてきた。

「そんなに会って無かったか？」

「いや、緋金は会ってないでしょ」

「そうだな」

そんな会話をしてたら姫路さんが質問をしてきた。

「明久くん、と雨月くんはその人と知り合い何ですか？」

「ある意味幼なじみだよ」

「なった理由が理由だけだな、説明はしたく無い。何も言つなよ、早苗」

「ほう、明久達にも幼なじみがいたのか」

「雄二と一緒だよ」

因みに射命丸さんは康太と写真の撮り方について話している。

「お久しぶりです、緋金様、吉井様」

十六夜 咲夜が礼儀正しく挨拶をしてきた。

「かた苦しいから止めてくれないかな？」

「明久に同じくだ」

「その人とは？」

「明久、どうする？話す？」

「あまり話して心地いいものじゃないけどね」

「何の話だ？」

「全く読めないのじゃが」

「……………話してみる、明久、緋金」

「俺が話す、少し昔話をしてやるよ」

とある事故が昔あったんだよ。

シージャックと言う人為的事故、テロがな。

俺と明久はその船に乗っていた。

船の名前はナイト・クイーンと言う名前だったよ。

結構有名だろ、その日になるとニュースでよくやってるし。

その生存者の人数を知ってるか？

正解だよ、雄二。

テロリスト含めて子供が二人、それが俺と明久の事だ。

「そ……………そんな……………」

「……………悪い、そいつ言いつつまじりじゃ」

「構わないが？だろ、明久」

「その通りだよ、緋金。今は新しい家族が居るからね」

「孤児院に2ヶ月程過ごしてたら引き取り手が見つかったな、因みに其処で咲夜とも会った」

「具体的に言うと僕には姉として聖白蓮先生が引き取ってくれた」

「俺は優曇華、鈴仙の所に引き取って貰った」

「因みに八雲姉妹先生と上白沢先生とも知り合いだよ」

「その通りだ」

そんな話をしていたら高橋先生が、

「新任教師はこのクラスに配属されます。くれぐれも失礼のないように」

「明久は聖先生と帰るんだろ？」

「そう言う緋金こそ鈴仙さんと帰るんですよ？」

「なあ明久」

「なに？」

「明日の清涼祭、頑張ろつな」

「当たり前だろ？」

「真似すんな!？」

「それじゃね！」

「またな！」

「ねえ聖姉さん？」

「なんですか？明久くん」

「今日はパエリアで良いかな？」

「いいですよ？」

「てゐー永琳さん！引きこもり美少女!!」ご飯ですよー！

既に席にはウドンゲが座っている。

「人参あるかな？」

「あるから早く座ってください」

「OKOK」

「いつもご苦労様、ありがとね」



「大丈夫です、問題有りませんし」

「せめて名前で呼んでくれないかしら？」

「取りあえずは顔を洗ってください、美少女が台無しです。引きこもりのニート美少女さんが…」

「あなたを引き取った人に対して凄惨な暴言を吐くのね」

「美少女が吐くとか言わないでくださいそして早く座ってください」

「お姉ちゃんと呼んだらいいわ」

「輝夜さんはご飯が要らないらしい」

「ごめんごめん!!?? ほらだって年なんか私が早く生まれただけで同じ年だしさ、取りあえずは座っておくわ」

「わかりました、お姉ちゃん(ボソッ)」

## 学園長室

「どうしたものかねえ？」

## 清涼祭初日

### 清涼祭

それは文月学園の文化祭。

各種クラスで様々な出し物をする。

学園側は召喚獣システムを発表する大事な機会。

つまり大会を開催して生徒同士の真剣勝負をさせる。

去年の清涼祭はカップルが多く誕生したらしい。

今年も誕生するであろう。

但しどこかの観察処分者とAクラス代表は好意に気付かず自分達はモテないと言いつつアホ共もいるが……。

緋金「皆！清涼祭がもうじき始まる！練習通り頑張っで行こう!!」

明久「所詮学生の祭りなんかじゃ無いことを大人に教えてあげよう」

Aモブ（執事&メイド）「オオオオオ  
!!!!!!!!!!!!!!」

彼らの激励で一気にハイになる皆。

尚緋金と明久はしっかりと執事服を着ています。

男子も女子も残念そうにしてた。

余談

ウドンゲ「ね、ねえ緋金？」

秋奈「に、兄さん……………？」

緋金&明久「何

グハア  
」

ウドンゲ&秋奈「緋金（兄さん）

!?!?!?!?!?!?!?!?!?!  
」

緋金&明久「ウドンゲ（秋奈）……そのメイド服……似合ってる

ぞ（よ）……………グフウ」バタッ

ウドンゲ「緋金!?大丈夫!?」ムニユウ

秋奈「兄さん!?大丈夫!?」ムニユウ

緋金&明久「ガハッ  
」

!!!!!!!

ウドンゲ&秋奈「緋金（兄さん）

!?!?!?!?!?!?!  
」

Aクラス接客組「急いで救急車又は調理組――  
」

!!!!!!!

一方調理組

雄二「なあ須川？」

須川「なんだ、坂本」

雄二「ゴマ団子ってどう作るんだ？」

なにせ家では普通のハンバーグやエビフライぐらいしか作らない  
からわからないんだ」

須川「わかった、まずは  
」

秀吉「ムッツリー二よ」

ムッツリー二もとい康太「……………わかった、チーズハンバーグの作り方だろ」

秀吉「助かるのう」

康太「……………任せておけ、……………その代わり……………」

秀吉「写真を撮らせると言っつのじゃろう、仕方が無いから構わぬ」

康太「……………商談成立、まずはこれを……………」

少し余談だが姫路さんの姿が見えるWWW

戻って緋金

ピンポンパンポン！

『口今より、清涼祭を開催します！』

緋金「死ぬかと思った……………」

明久「僕も……………」

緋金同情組合子（確かにあの胸を押し付けられたら……………わからなくもない）

緋金嫉妬組男子（あんな禁断の果実に押し付けられて……羨ましいぞ!!!）

明久同情組男子（鈴仙さん程では無いけど確かにアレは……男として正しい反応だ!!）

明久嫉妬組男子（あんな可愛いく兄さんとか呼んでくれる……パルパルパルパルパル!!）

なんか違うのが宿ったらしい。

緋金同情女子一同（かなりの凶器の持ち主ね、鈴仙さん）

明久同情女子一同（明久くん……結構一途……）

緋金「さて皆!!」

明久「頑張ろう!」

全員「オオオオ!!!!」

此また戻って雄二達

雄二「これは一体……?」

須川「俺にもわからない……」

秀吉「なにがあつたのじゃろっ」

康太「……恐らくは……」

雄二達「このゴマ団子の仕業だああああ  
!!!!!!」

倒れたきり動かない姫路さん。

机の上に置いてある、

六個のゴマ団子。

雄二達全員「よし、緋金と明久に押し付けよう!」

何故か『雄二、須川、秀吉、康太、緋金、明久達全員分の』の数が  
用意されてるゴマ団子を満場一致で緋金と明久に押し付ける事が決  
定していた。

因みに本編みたいに劇薬を入れた訳では無いのにこうなる。

正に姫路マジック!

開店してから二分後。

調理部<sup>処刑所</sup>へと入室した緋金と明久。

姫路は見えない所に置いてある。

秀吉「良く来たのう、緋金に明久や」

康太「……………俺達はお前達を歓迎する」

明久「歓迎……………? どういう事?」

雄二「いや、かなり客が来てて手が足りなくなりはじめたから手

伝ってくれるかという意味で歓迎するだぞ、緋金に明久」

緋金「なんでドアの前に立つんだ？そこだと他の人の邪魔だろ？」

須川「俺達を作ったゴマ団子を食べてくれないか？味見は未だだろ  
う？」

明久&緋金「怪しいけど喜んで」

怪しいゴマ団子を食べる二人。

安心した顔と心配そうな顔の混ざった顔を見せる皆。

そして、

明久「外はゴリゴリ、中はネバナバ。甘過ぎず辛過ぎず何とも絶妙  
なグハア  
!!!!!!!」

緋金「モグモグ、俺の味覚が示す限り内容物は、  
『長ネギ、玉ねぎ、タバスコ、砂糖、豚肉、ラー油、醤油、杏仁豆腐、  
チョコレート、ガム、ミステリーフード、謎のたこ焼きのたこ、e t  
c . e t c 』ガハッ」

倒れ出す明久と後ろに吹き飛ばされる緋金。

緋金の言った内容物を聞いて汗が溢れて来てる雄二達。

緋金「クソ、体が思うように動かない……………」

須川「吉井！これを食べろ」

雄二「緋金！これを食べろ  
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

口の中に二つずつ放り込み無理矢理咀嚼させる二人。

気絶：（多分）して痙攣し出した二人。

時間経過 30分後

明久「アレ？此処は何処？」

緋金「なんかあったけど思い出せない……」

明久「緋金、向こうに姫路さんが！」

見ると川の渡し船で話をしているらしい。

明久「姫路さん、どうしたの？」

姫路「あつ、明久くんに雨月くん！

聞いてください、この川の渡し船の料金が六文ではなく六万とか言うんです！私はこの川の向こうに行かないといけませんのに!？」

明久「姫路さんは、」

緋金「いつたい、」

明久&緋金「どこに行くつもりだ」

!!!!!!!!!!!!

姫路「あつ！そ、それは」

無事現実世界に帰還。

姫路さんにはしっかりとゴマ団子とかハンバーグとかなどの必要な料理のレシピを渡してを教授、書いてない物を入れるなど厳命し



た。

雄二達には普通のお仕置きを行った。

その後明日から始まる大会に出るためにそれぞれのペアと共々参加希望紙を提出しに向かった。

# 清涼祭召喚獣大会説明&ネタバレエ、オリキャラ二人の設定

清涼祭召喚獣大会

吉井 明久&吉井 秋奈

坂本 雄二&霧島 翔子

木下 秀吉&木下 優子

土屋 康太&工藤 愛子

雨月 緋金&鈴仙・優曇華院・因幡

須川 くん&榊 裕香

東風谷 早苗&射命丸 文

十六夜 咲夜&姫路 瑞希

以上が2年Aクラスの出場者。

どこぞの暴力壁も出場します。

大会の賞品

Aブロック優勝者

白金の腕輪『多重』

白金の腕輪『空間』

Bブロック優勝者

回復の腕輪

高速の腕輪

Cブロック優勝者

懐中時計『能力』

ヘアピン『能力』

Dブロック優勝者

ブックオブシャドウ

月の腕輪

総合優勝者

如月グランドパークペアチケット

白紙のカード30枚セット×2

## 大会の説明

4つのブロックに別れて召喚獣の戦闘をして貰う。  
規定の時間になっても対戦相手が来ない場合、  
5分の猶予の後不戦敗。

各ブロック優勝者には賞品をプレゼント。  
更に最終ブロックにて優勝者には更に上乗せで賞品。

最初のブロックでは行う科目は一緒。

一回戦は数学、二回戦は生物、

と言った具合に全てのブロックは決まっている。

総合ブロックではアトラダムに決められるが最終科目だけは決まっており、総合科目で挑む。

各ブロックの出場人数は十六人。

勝ち抜き形式のトーナメント戦。

それぞれの優勝戦では観客が来る。

又、総合ブロックでは全ての試合に観客がくる。

学園長がどこからも無く客を連れてくるので粗相の無いように試合に励むべし。

## ルール

基本的に試召戦争とは変わらない。

特別ルールで観察処分者のフィールドバックは一時的に消される。  
棄権等も可能。

正々堂々とフェアプレイを心がける事。

ネタバレ注意

これ以上下はネタバレ。

オリキャラ二人の設定です。

榊 裕香（さかき ゆうか）  
16歳（2年Aクラス）

黒い肩まで伸びた髪に翡翠色の瞳の小柄(156cm)な女性(胸はG)

学力は全体的に高め(ずば抜けて高い科目も無ければずば抜けて低い科目も無い)

学力、			
国語	300	500	0
古典	300	500	0
数学	300	500	0
化学	300	500	0
生物	300	500	0
物理	300	500	0
地理	300	500	0
日本史	300	500	0
世界史	300	500	0
英語	300	500	0
保健体育	300	500	0

性格

元気が良く天真爛漫(イメージはハイスクールD×Dの紫藤イリナ)

どんな相手でも仲良くなれるのが長所

逆に感情が表に出やすく、騙されやすいのが短所(ポーカーなどの賭け事にはめっぽう弱い)

勉強以外にも身体を動かすのも得意(ただし、ずば抜けて得意というわけではない)

須川とは幼馴染(須川のこと「亮くん」と呼ぶ)

召喚獣

文月学園の制服に西洋剣

腕輪

天使化

召喚獣の背中に3対6枚の白い羽が生えて飛べるようになる  
光の矢による遠距離攻撃が可能（1回の攻撃で50点消費）  
400点以上の状態じゃないと使えない（腕輪の発動自体での点数  
の消費はない）

吉井 秋奈（よしい あきな）

16歳

髪が長くなって身長が少し低くなった明久（胸はC）

学力、	
国語	200
古典	200
数学	500
化学	450
生物	600
物理	550
地理	150
日本史	200
世界史	250
英語	500
保健体育	700

性格

明久とは従兄妹の関係（明久のことは「兄さん」と呼ぶ）

明久にだけ積極的だが、他の人の前では恥ずかしがりや（明久のこ  
とが好き）

帰国子女で文系の科目は未だに苦手（それでも極端に低いというこ  
とはない）

何故か喧嘩が強い（喧嘩に馴れているわけでも武術などをしている

わけでもない。理由は本人にも不明)

召喚獣

青い着物に弓矢(矢は1回放つのに10点消費する)と小太刀

腕輪

属性の矢

矢に火や水といった属性を宿す(1回につき50点消費。複数使用も可能)

300点以上ないと使えない



## 東方メンバーのネタバレ

東風谷早苗

学力

国語	2	2	0	3	0	0
古典	2	2	0	3	0	0
数学	2	5	0	3	2	0
化学	2	6	0	3	9	0
生物	2	4	0	3	4	0
物理	2	1	0	2	9	0
地理	3	2	0	4	6	0
日本史	6	0	0	8	5	0
世界史	1	2	0	2	0	0
英語	2	3	0	2	5	0
保健体育	2	2	0	2	6	0

性格

東方と基本変わらない。

しかし現人神では無い。

召喚獣、

東方の巫女さんの格好。

武器は御祓い棒。

腕輪の能力

『奇跡』

何が起きるかわからない奇跡を放つ。

溜めに時間を掛ければ掛けるほど強力で有利な物が発動しやすく

なる。

射命丸文

学力、												
国語	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0
古典	3	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0	0
数学	2	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	0
化学	1	2	0	1	2	0	2	6	0	0	0	0
生物	1	4	0	1	4	0	2	4	0	0	0	0
物理	2	1	0	2	1	0	3	4	0	0	0	0
地理	2	2	0	2	2	0	2	3	0	0	0	0
日本史	2	0	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0
世界史	2	0	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0
英語	2	6	0	2	6	0	3	2	0	0	0	0
保健体育	2	2	0	2	2	0	3	2	0	0	0	0

性格

東方と基本変わらない。

新聞部所属。パラッチの気があり。

召喚獣、

東方の格好。

武器として草の扇。

腕輪の能力

『風を操る』

風を操って移動を加速させたり移動出来ないようにする。

十六夜咲夜

学力、	2	1	0	0	2	8	0
国語	2	1	0	0	2	8	0
古典	1	9	0	0	2	2	0
数学	2	8	0	0	3	6	0
化学	2	0	0	0	3	0	0
生物	2	4	0	0	2	6	0
物理	2	2	0	0	3	0	0
地理	1	9	0	0	3	2	0
日本史	2	2	0	0	3	9	0
世界史	2	5	0	0	3	7	0
英語	3	8	0	0	4	7	0
保健体育	1	6	0	0	2	9	0

性格

東方と基本変わらない。  
 スカレット家のメイドをしている。

召喚獣、

東方の格好。

武器として、投げナイフ。

10発

腕輪の能力

『補充』

250越えしてる時のみ10点使用でナイフを補充する。

鈴仙優曇華院因幡

学力、	2
国語	0
古典	0
数学	3
化学	0
生物	0
物理	2
地理	0
日本史	1
世界史	2
英語	8
保健体育	0
	3
	3
	0
	4
	1
	0

性格

東方と基本変わらない。

永遠亭、要するに八意永琳や蓬莱山 輝夜とすんでいる。

召喚獣、

東方の格好。

武器として、弾数無限の拳銃。

腕輪の能力

『波長を操る』

波長を操ると言っても殆ど出来る事が無い。

精々銃弾が有る程度操れる程度。

関係

東風谷早苗 吉井明久

中の良い男の子 中の良い女の子

東風谷早苗 雨月緋金

恋愛感情に似た何か又は恋愛感情知らない 気付いてない、女の子  
の友達

射命丸文 吉井明久&雨月緋金

全員ただのクラスメイト

十六夜咲夜 吉井明久

?????  
昔の知り合い

十六夜咲夜 雨月緋金

昔の知り合い 昔の知り合い

鈴仙優曇華院因幡 吉井明久

友達兼緋金の友達 友達

鈴仙優曇華院因幡 雨月緋金

察してくださると嬉しいです 気が付いてない

取り敢えずこのような感じですよ。